

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和5年度第2回南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和5年9月1日（金曜日） 14時40分～16時20分
場所	南中学校 2階翔南ルーム
出席委員	宇津木会長、内野泰委員、大塚委員、高橋淑委員、佐藤委員、佐鳥委員、三浦委員、山中委員、藤尾委員（代理人が出席）、細川委員、小池委員、廣田委員、黒川委員、高橋宏委員、山口委員、真武委員（南中校長）、小川委員（南小校長）
欠席委員	鈴木委員、金泉委員、内野昌委員、内野雅委員
事務局	南小学校 目黒教頭（代理 松本主幹教諭）、小熊事務主事 南中学校 藤田教頭、長村事務主任
議題	(1) 第1回学校運営協議会議事録について (2) 児童・生徒の学力（県学調・全国学調）の結果について (3) 小中一貫勉強会について (4) 学校における働き方改革について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第2回鶴ヶ島市立南小学校・南中学校学校運営協議会の開催について ・令和5年度鶴ヶ島市立南小・中学校 第2回学校運営協議会次第 ・鶴ヶ島市立南小学校 学校だより及び活動の様子 ・鶴ヶ島市立南中学校 学校だより及び活動の様子 ・第1回学校運営協議会議事録 ・鶴ヶ島市立南小学校 令和5年度埼玉県学力・学習状況調査の学力の伸びの状況及び全国学力・学習状況調査の調査結果概況 ・鶴ヶ島市立南中学校 令和5年度埼玉県学力・学習状況調査の学力の伸びの状況及び全国学力・学習状況調査の調査結果概況 ・小中一貫校勉強会スケジュール ・坂戸市立城山学園紹介資料 ・令和5年度 南小・中学校学校運営協議会委員名簿 ・南中学校 学校公開日のお知らせ ・南小学校 令和5年度運動会について（ご案内）
公開・非公開	公開
傍聴人数	1人
会議要旨	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第1回学校運営協議会議事録について ・確認された。 (2) 児童・生徒の学力（県学調・全国学調）の結果について ・全国及び県の学力・学習状況調査の南小・中学校それぞれの結果について説明した。 (3) 小中一貫勉強会について ・今年度実施する内容とスケジュールについて確認した。

	(4) 学校における働き方改革について ・南中校長が取組について紹介し、意見を募った。
--	--

【議事概要】

<会長>

- 本日は傍聴者が1名いることを確認。
- あいさつ
 - ・今回の議題にも前回から継続したものがあるので思い出しながら進めていきたい
 - ・本日の議題の確認

<南中校長>

- あいさつ
 - ・小、中とも大きな事故なく夏休みを過ごした。
 - ・地域での見守りありがとうございます。

<南小主幹教諭>

- 児童の様子について
 - ・5年 自然体験学習（秩父・寄居）長瀬げんきプラザ
 - ・南中との合同避難訓練 日頃の立哨指導ありがとうございます。
 - ・ランランチャレンジ シャトルランは市内トップ
 - ・ういてまで教室 着衣水泳の学習
 - ・きらきらフェスティバル 6年が主体となって縦割り班によるお祭り
 - ・鶴っ子サマースクール

<南中教頭>

- 生徒の様子について
 - ・体育祭 クラス対抗から団対抗へ変更
 - ・研究授業
 - ・学総 サッカー、女子バスケが地区予選で3位 男子テニスのペアが県大会出場
 - ・南小中合同避難訓練
 - ・生徒会のレク 生徒主体で行った
 - ・社会体験チャレンジ 4年ぶりの開催
 - ・地域のお祭りへのボランティア参加
 - ・始業式 避難訓練の実施

<会長>

暑い中で、体育の工夫はあるのか

<南小主幹教諭>

養護教諭が暑さ指数を測り、外での体育、外あそびをやめる声かけなどをしている、体育館を分け合って使用する、体育の際は水筒を持っていく、冷風機の活用など

＜会長＞

学校だよりの回覧、地域で見てももらっているか

＜委員＞

見ていただいていると思う

＜会長＞

○当日の出席者の確認

○コミュニティースクールフォーラムについて

- ・オンライン開催 5名参加
- ・講演は三鷹市の教育長
- ・発表のあった学校では、学校支援、学校評価、広報の部会に分かれている
- ・リソース、人材確保が問題点

議題（1）

第1回学校運営協議会議事録について

＜会長＞

○前回の議事録の確認

- ・会長の選出
 - ・学校経営方針の確認
 - ・働き方改革との折り合い
 - ・小中一貫で考えた時の区切り方
 - ・運営協議会の開催頻度について（年5回）、各回で取り上げる内容
 - ・情報交換 小中一貫の勉強会について、市の学校再編計画のスケジュールの確認
 - ・運営協議会での話し合いの内容の地域への共有について
 - ・南町からの学校運営協議会委員の選出について
- 具体的な選出に至らなかった。第3回までにはお願ひします。

＜委員達＞

異議なし

議題（2）

児童・生徒の学力（県学調・全国学調）の結果について

＜会長＞

最初に南中校長から趣旨・概要説明、その後南中、南小の状況報告でお願いします。

＜南中校長＞

全体の概要、表の見方の説明も含めて南中の状況について説明。

○県の学力・学習状況調査

- ・中3の国語は下位層が少ないので中2の時から県のレベルを上回っている。
- ・中3の数学は中2から中3にかけて中間層が伸びていない。中間層の生徒たちに対しての指導を手厚くしていかなければいけない。
- ・中3の英語は下位層がない。上位層が厚い。
- ・中1の数学はちょっと下位層が厚いので手当していきたい。

○全国学力・学習状況調査

- ・平均正答率は上回っているが、正答数でみるとほとんど差がない。
- ・国語、分布グラフで見ると県の調査同様に下位層が少ない。中間層が伸びている。
- ・数学は下位層が多い。
- ・英語は全国の平均正答率と同じくらい。下位層が少なく、上位層が多い。
- ・今後分析をしていくが、全国については問題の内容分析を教員で夏休みに行った。中3は記述式の回答率が高い。生きてはたらく力、考えて書く力につながると考えるので、引き続き伸ばしていきたい。

＜南小主幹教諭＞

○県の学力・学習状況調査

- ・国語、県平均よりは低いが伸びており、昨年度からの取組が間違っていなかったと感じている。
- ・今年からICTを使ってのテストとなり、慣れない中で時間がかかっていた。
- ・学力向上の取組として新聞記事を読んで意見を書く活動を行っており、5、6年の伸びにつながった。下位層の伸びが大きい。
- ・読み聞かせのボランティアもお願いしており、読み聞かせ後担任も声かけを行い、内容理解に努めている。
- ・算数も県平均より低いが、だんだん近づいてきたと分析している。

取組としては第一に少人数指導を行っている。第二にのびのび算数教室を放課後に実施して授業の復習を行っている。表を見ると下位層の伸びがみられる。

- ・国語、算数とも学力の伸びがみられる。自分の考えが伝えられるようになってきたと感じている。児童のアンケートでも自信をもって発表できる、との割合が八割。ただし授業の復習が足りないと感じており、家庭学習を推奨しながら家庭に協力をお願いしていきたいと考えている。

＜会長＞

ここまで質問等ありますでしょうか。

＜委員＞

- ・問題を解く力と、ICTの操作が入ってくるとまた結果が変わってくるのかと考える。
- ・子供の様子を見ると、復習はやっていない。

＜委員＞

- ・復習はやっていない。

自由学習が多いが、自分が好きなことをたくさん学んでいる。

＜会長＞

・小中の9年間、その先まで伸びていくような子育てができるとよい。

議題（3）

小中一貫勉強会について

＜会長＞

提案者からお願ひします。

＜委員＞

小中一貫勉強会のスケジュールについて、配布資料をもとに説明した。

○今年度残りの期間で2か月に一度くらい、3回程度で考えている。

第1回目は10月頃に近隣で同様の学校運営をしているところの見学をしたい。

坂戸市立城山学園は南小・中の再編スタイルと近い施設一体型の小中一貫校であるため。

第2回目は見学して見つけた問題点の整理。

第3回目はどうあるべきかという姿を探る。

来年度はこの3回の勉強会の内容を踏まえて南小中一貫校のイメージ作りを行い市への提案を行えたらよい。そして再編計画への関わりを作ることができたらよい。

＜会長＞

質問ありますでしょうか。

＜委員＞

対象になる子供たちはどういうイメージを持っているのか。

大人とは違う問題意識を持っていると思う。子供の意見、想いが準備期間のうちに反映されていくような仕組みになっていったら、よりよい小中一貫校になるのではないか。

子供の意見を聞く機会を学校でお願いしたい。

小中一貫校自体は全国でいろいろな例があると思うので、南小中にふさわしいかたちを探すべき。

＜会長＞

小中一貫になることで小中のギャップがなくなるメリットがあると思う。

ただし、ずっと同じメンバーのみでの9年というデメリットもある。

＜委員＞

見学することは賛成だが、学校再編については、教育委員会の考え方があるので、事

前に話し合いの場をもってから動き出した方がよい。市と足並みを揃えて検討していった方がよい。

＜南中校長＞

市教委の再編担当には南小中の学校運営協議会での協議内容は伝えている。南小中の再編についても全て決定ということではなく、見直しも必要であり、地域の声も聞きながら考えていく方向性である。

＜委員＞

仮に中学校の校舎を使っていく、ということになったときに南中の修繕が全くされていないという問題がある。まだ9年間は使用していくものもあるので、提言していくべき。

＜会長＞

市に伝えていく、というスタンスでいく。
メンバーや日程の段取りについて。

＜南中校長＞

中心メンバーを選出していただき、見学については他市なので教育委員会を通しての依頼となる。

＜委員＞

参加メンバーは固定でなく、機会を作つて参加できる時に、と対応していく。

議題（4）

学校における働き方改革について

＜会長＞

今学校が進めている働き方改革について議論したい。

＜南中校長＞

配布資料をもとに説明。

○中教審の提言でも喫緊の課題、社会全体で取り組むべきであると言われている。

なぜ働き方改革をするかというと、最終的には子供のため。

教員が子供たちと関わる時間の確保、関わる質を高めることに結びつくことが働き方改革だと思っている。

○中教審がH29年に示した業務の在り方について

○鶴ヶ島市において改革された事例

- ・部活動指導員の配置
- ・スクールサポートスタッフの全校配置

- ・統合型校務支援システムの導入
- ・スクールカウンセラーの全校配置
- ・水泳授業の民間委託の試行

○南中の現状や取り組み

- ・中学校は部活動の負担が一番重い

昨年度の南中の県費負担教職員の勤務外在校時間は4月の平均で71時間。秋以降は減るが、それは部活動の終了時刻が早まるからということが大きい。

夏休みにカエル会議を行ったが、部活動に関する内容が多くあがった。鶴ヶ島中は昨年度から下校時刻を早めている。部活動の活動時間確保のため簡単清掃についている曜日もあるが、清掃で学べることもあり、どう天秤にかけていいか、これもご意見を伺いたい。

- ・通知表の担任からのコメント欄について

南中は、一学期は夏休みに面談を行うので載せていない。市町村によっては一切なくしているところもある。ただしこれは子供に関わることなので必要であるという考え方もあるが、一方でこの負担をなくして他の子供に関わる業務に当たるという考え方もある。保護者にとってはどうか。いろんなご意見をいただきたいどうしていくか考えていきたい。

- ・学校以外のところが担うべき、という業務については手がついていないのが現状。いろいろな機会で意見が出るといいと思う。
- ・今後も学校の現状、このように業務改善していきたいということをお伝えするのでご意見いただきたい。

＜会長＞

保護者にとってはどうか、本部会などでも見ていってほしい。

＜会長＞

留守番電話の設定時間は何時になっているのか。

＜南中校長＞

南中は18時半から。

＜南小校長＞

南小は夕方18時以降、朝は8時に解除。

＜委員＞

民間は残業分が給与に反映されるが、教員はどうなっているか。

＜南中校長＞

○教職調整額というものがあって給料月額の4%が出ており、その分が残業代であるという扱い。ただし、この4%というのは決めた当時の教員の残業時間がその程度であったということ。

○部活動手当について

平日の勤務時間終了後の部活動は時間外勤務となるが、その手当は一切ない。休日は2,700円。これは他校へ練習試合に行っても変わらず、旅費は出ない。

＜委員＞

民間でも、みなし残業をしているところは時間外手当をつけづらい。20時間なら20時間を超えたかどうかがわかりづらい。

＜南中校長＞

なかなか教員の仕事はどこまでかということがわかりづらい。

＜委員＞

みなし残業時間は長時間労働化するからやめた方がよいと思う。
また、地域の方やほかの方に分担してほしいというお話をするときは、やはり数字でこれだけ時間外があるということをお示しいただいた方がよい。
超過している実態を鑑みれば周りの人たちもやむを得ないか、と納得感があると思う。

＜委員＞

地域ボランティアという話が出たが、全てが無償ではできない。ペットボトルのお茶一本でも、熱中症対策以外では出せないといわれてしまう。それではボランティアだってやっていただける人がいなくなってしまう。

＜会長＞

地域との連携をみながら進めていきたい。

＜会長＞

今後の予定

○今後学校運営協議会として招待されている行事

　南中学校 9月9日学校公開日、10月28日合唱祭

　南小 9月16日学校公開日、10月14日運動会、11月11日学校公開日

○12月1日に第3回学校運営協議会

その他各所属団体からの追加事項はありますか。

＜委員たち＞

なし

＜会長＞

学校への意見、要望はありますか。

ないようでしたらこれをもちまして第2回学校運営協議会を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。